

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 不二ラテックス株式会社

コード番号 5199 URL <http://www.fujilatex.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 研二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員財務部長

(氏名) 畑山 幹男

TEL 03-3293-5686

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,230	0.5	246	39.7	220	52.1	138	63.5
25年3月期第2四半期	3,213	△8.0	176	△33.6	145	△38.4	84	△29.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 148百万円 (77.1%) 25年3月期第2四半期 83百万円 (△29.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	10.90	—
25年3月期第2四半期	6.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,356	2,242	26.8
25年3月期	8,163	2,157	26.4

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,242百万円 25年3月期 2,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,450	4.5	410	27.5	370	37.9	210	32.1	16.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	12,861,992 株	25年3月期	12,861,992 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	143,894 株	25年3月期	141,958 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	12,718,893 株	25年3月期2Q	12,721,503 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期の経営成績

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国で緩やかな景気回復が継続し、欧州では一部に改善の動きが見られたものの引き続き低調で、中国をはじめとする新興諸国においても経済成長が鈍化する等、先行きの不透明な状況が続いております。国内経済は経済政策や金融政策への期待感から株価上昇、円安基調となり輸出環境の改善や国内生産の増加、設備投資に底堅さが見られる等、緩やかに回復してきております。

経営成績については、中核事業のひとつである医療機器事業は、主力のコンドームを取巻く市場環境は依然厳しい状況が続いております。もう一つの主力分野である精密機器事業は、製造関連企業を中心に顧客ニーズに対応すべく積極的な製品開発と提案営業を推進してきました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、32億3千万円と前年同四半期と比べ1千6百万円(0.5%)の増加となりました。

利益面につきましては、営業利益は、2億4千6百万円と前年同四半期と比べ7千万円(39.7%)の増益となりました。経常利益は、2億2千万円と前年同四半期と比べ7千5百万円(52.1%)の増益となり、四半期純利益は、1億3千8百万円と前年同四半期と比べ5千3百万円(63.5%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、セグメント損益は、営業利益又は営業損失に基づいております。

① 医療機器事業

主力の国内コンドームは、継続的かつ中心的な戦略として位置づけている販売チャネルとしての大型小売店・ドラッグストア・コンビニエンスストア開拓をより重点的に推進しました。常態化した価格競争に伴う価格低下圧力は依然として激しく、原材料全般の継続的な価格高止まりにより収益両面ともに引き続き厳しい展開が続きました。また、プローブカバー(感染予防製品)を中心としたメディカル製品については引き続き堅調に推移しました。

この結果、売上高は、10億4千2百万円と前年同四半期と比べ6千7百万円(△6.1%)の減少となりました。

セグメント利益は、原材料費のコストアップを生産合理化で吸収しましたが、3千9百万円と前年同四半期と比べ0百万円(△0.5%)の減益となりました。

② 精密機器事業

主力のショックアブソーバ及びロータリーダンパーは、国内市場において一部の市場を除き受注は堅調に推移しました。主要な市場として位置付け、開拓深耕を続けている住宅設備関連の受注は堅調に推移し、自動車関連、家電の分野でも受注に回復傾向が見られましたが、産業用の分野においては本格的な回復には至りませんでした。海外市場では、大手取引先のある欧州の景気低迷の影響もあり受注は伸び悩みましたが、前年を上回る実績となりました。

この結果、売上高は、19億円と前年同四半期と比べ1億5千8百万円(9.1%)の増加となりました。

セグメント利益は、売上高の増加により4億円と前年同四半期と比べ7千6百万円(23.6%)の増益となりました。

③ SP事業

主力のゴム風船が主体となる販促用品市場のニーズ多様化と市場の縮小が続きました。前期より続く広告販促活動・イベント等に回復の傾向が見え、テーマパークでの集客回復等のプラス要因もありましたが、ヘリウムガスの供給不足が続く中、依然として厳しい市場環境となりました。

この結果、売上高は、2億1千7百万円と前年同四半期と比べ7千2百万円(△25.1%)の減少となりました。

セグメント損益は、2千1百万円の損失で前年同四半期と比べ1百万円(―%)の減益となりました。

④ その他

売上高は、7千万円と前年同四半期と比べ1百万円(△2.2%)の減少となりました。

セグメント損益は、2百万円の損失で前年同四半期と比べ8百万円(―%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は、83億5千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億9千2百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の1億9百万円の増加と受取手形及び売掛金の1億8千7百万円の増加によるものであります。

負債総額は61億1千3百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億8百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の4千7百万円の増加と未払法人税等の4千5百万円の増加や長期借入金の8千1百万円の増加によるものであります。

純資産総額は22億4千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ8千4百万円増加しました。主な要因は、配当金の支払いによる6千3百万円の減少はありましたが、四半期純利益の1億3千8百万円の増加により利益剰余金が7千5百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は26.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、11億4千6百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ1億1千5百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、1億8千4百万円(前年同四半期は4億2千2百万円の支出)となりました。

資金の主な増加要因は税金等調整前四半期純利益の2億1千4百万円、減価償却費の8千9百万円、仕入債務の増加4千6百万円などによります。主な減少要因は売上債権の増加1億8千7百万円などによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ1千1百万円増加し、7千5百万円となりました。

支出の主な要因は有形固定資産の取得5千5百万円などによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、8百万円(前年同四半期は3億4千3百万円の収入)となりました。

支出の主な要因は長期借入による6億円の資金調達がありましたが、長期借入金の返済5億2千2百万円、配当金の支払い6千3百万円、リース債務の返済2千万円などによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。

当第2四半期連結累計期間の業績および第3四半期以降の経営環境を踏まえ、平成25年5月15日に公表いたしました平成26年3月期の連結業績予想につきまして次のとおり見直しております。通期の連結業績は、売上高64億5千万円、営業利益4億1千万円、経常利益3億7千万円、当期純利益2億1千万円を見込んでおります。

詳細につきましては、平成25年11月8日公表の「平成26年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,384,636	1,493,734
受取手形及び売掛金	1,684,416	1,871,818
商品及び製品	747,897	611,517
仕掛品	430,525	502,391
原材料及び貯蔵品	541,540	574,510
その他	116,480	90,206
貸倒引当金	△409	△452
流動資産合計	4,905,087	5,143,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	829,632	807,956
土地	1,469,852	1,469,852
その他(純額)	423,776	396,776
有形固定資産合計	2,723,261	2,674,585
無形固定資産		
投資その他の資産	47,208	52,223
その他	479,460	478,442
貸倒引当金	△2,628	△2,587
投資その他の資産合計	476,832	475,854
固定資産合計	3,247,301	3,202,664
繰延資産	10,822	9,702
資産合計	8,163,211	8,356,094
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,046,694	1,094,075
短期借入金	808,000	816,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	958,215	954,435
未払法人税等	8,031	53,157
賞与引当金	109,408	98,645
その他の引当金	—	4,897
その他	272,115	245,011
流動負債合計	3,222,465	3,286,222
固定負債		
社債	480,000	470,000
長期借入金	1,578,270	1,659,460
退職給付引当金	328,526	319,425
その他	396,402	378,887
固定負債合計	2,783,199	2,827,772
負債合計	6,005,665	6,113,995

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	966,738	1,041,797
自己株式	△29,870	△30,154
株主資本合計	1,828,330	1,903,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,060	29,244
土地再評価差額金	301,221	301,221
為替換算調整勘定	933	8,527
その他の包括利益累計額合計	329,216	338,993
純資産合計	2,157,546	2,242,098
負債純資産合計	8,163,211	8,356,094

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,213,927	3,230,382
売上原価	2,404,467	2,383,220
売上総利益	809,459	847,161
販売費及び一般管理費	632,704	600,273
営業利益	176,755	246,887
営業外収益		
受取利息	404	259
受取配当金	2,860	2,922
受取賃貸料	7,652	7,973
その他	4,174	4,927
営業外収益合計	15,092	16,083
営業外費用		
支払利息	36,059	31,650
賃貸費用	3,170	3,165
その他	7,612	7,629
営業外費用合計	46,842	42,446
経常利益	145,005	220,524
特別損失		
固定資産除却損	694	6,518
特別損失合計	694	6,518
税金等調整前四半期純利益	144,310	214,006
法人税、住民税及び事業税	3,391	49,768
法人税等調整額	56,136	25,579
法人税等合計	59,527	75,347
少数株主損益調整前四半期純利益	84,783	138,659
四半期純利益	84,783	138,659

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	84,783	138,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,211	2,183
為替換算調整勘定	1,253	7,593
その他の包括利益合計	△957	9,776
四半期包括利益	83,825	148,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,825	148,436
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	144,310	214,006
減価償却費	83,489	89,492
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△141	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,350	△10,787
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△9,331	△9,253
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△230,181	—
その他の引当金の増減額 (△は減少)	9,656	4,897
受取利息及び受取配当金	△3,265	△3,182
支払利息	36,059	31,650
社債発行費償却	1,150	1,119
有形固定資産除却損	694	6,518
売上債権の増減額 (△は増加)	42,714	△187,103
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△65,100	31,620
仕入債務の増減額 (△は減少)	△165,466	46,938
その他	△60,652	2,032
小計	△222,414	217,952
利息及び配当金の受取額	3,265	3,182
利息の支払額	△36,059	△31,650
法人税等の支払額	△167,636	△4,515
営業活動によるキャッシュ・フロー	△422,845	184,968
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△56,671	△55,232
有形固定資産の除却による支出	—	△6,476
無形固定資産の取得による支出	△3,928	△11,063
投資有価証券の取得による支出	△2,273	△1,918
その他	△1,007	△345
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,880	△75,036
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	412,000	8,000
長期借入れによる収入	500,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△488,972	△522,590
社債の償還による支出	—	△10,000
リース債務の返済による支出	△15,740	△20,450
自己株式の取得による支出	△374	△283
配当金の支払額	△63,523	△63,445
財務活動によるキャッシュ・フロー	343,388	△8,770
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,348	7,936
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△141,988	109,098
現金及び現金同等物の期首残高	1,172,393	1,037,236
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,030,405	1,146,334

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	SP事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,109,518	1,742,282	289,976	3,141,777	72,149	3,213,927	—	3,213,927
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,109,518	1,742,282	289,976	3,141,777	72,149	3,213,927	—	3,213,927
セグメント利益 又は損失(△)	39,920	324,519	△19,925	344,514	5,432	349,947	△173,191	176,755

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電工用手袋事業及び食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△173,191千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	SP事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,042,252	1,900,398	217,196	3,159,847	70,535	3,230,382	—	3,230,382
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,042,252	1,900,398	217,196	3,159,847	70,535	3,230,382	—	3,230,382
セグメント利益 又は損失(△)	39,738	400,954	△21,637	419,055	△2,766	416,289	△169,401	246,887

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電工用手袋事業及び食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△169,401千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。